

# 浩然

「思いやりを持ち 健やかで 確かな学力を  
身に付け ふるさとを愛する生徒の育成」  
香美町立村岡中学校通信  
No. 11 2016. 12. 22 (THU.)

## ピンチはチャンス!



### 「4つのCH」

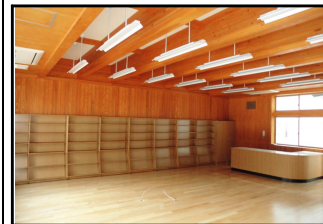
2学期が終わりました。次のステップのためにもこの一年をしっかりと振り返りましょう。「4つのCH」。これは「ピンチ(Pinch)、チャンス(Chance)、チェンジ(Change)、チャレンジ(Challenge)」の4つに共通するCHです。この言葉は、2020年のオリンピックが東京に決まったとき、招致委員の一人である有森裕子さんが話されていたものです。

有森裕子さんは、バルセロナ、アトランタのオリンピック2大会の女子マラソン銀・銅メダリストです。中学・高校時代は全く無名ながら、努力してメダリストになった方です。特に、挫折、苦悩の末に挑んだ2回目のオリンピックでのゴール後のインタビューで「メダルの色は銅かもしれませんが、終わってから、なんでもっと頑張れなかったのかと思うレースはしたくなかったし、今回はそう思っていないし……、初めて自分で自分を褒めたいと思います。」と涙ながらに語った姿に感動し、自分自身を誇れる有森さんがとても素敵で輝いていたことを今でも覚えています。(ちなみに、この「自分で自分を褒めたい」という言葉は、その年の「新語・流行語大賞」にも選ばれました。)ですから、有森さんが紹介した「4つのCH」には重みを感じられ、皆さんに紹介し、共有したいと思っていました。師走という一年の締めくくりに、冬休みを迎える生徒のみならず、私たち大人もこの「4つのCH」についてじっくり考えてみたいものです。

「一年の計は元旦にあり」とはよく言いますが、その前に自分の過ごしてきた一年を見直し、きちんと反省して初めて具体的な計画が立てられるのです。評価の仕方はいろいろあると思いますが、じっくり自分と向き合ってみてください。

私たちは、失敗したとき、よく「ああ、もう駄目だ」「もうできない!」とすぐにあきらめてしまいがちです。あるいは「どうせ、自分はこの程度だ」などと、つい自分で限界を決めてしまうことが多いかもしれません。

しかし、「ピンチはチャンス」です。つらい、苦しいピンチのときこそ成長できるチャンスととらえ、勇敢にチャレンジしていくことで、自分をチェンジすることができるのだと、「4つのCH」は語っています。ことわざにも「蒔かぬ種は生えぬ」とあります。自らを省みることは、自分を変える(チェンジ)大きなきっかけとなります。自分のやってきたことを分析、評価し、新しい目標を立て、それに向かって挑戦していけたらどんなに素晴らしいことでしょうか。来るべき新たな年に向け、この一年の行動をしっかりと見つめ直してみましょう。



(完成間近の新図書室)



(12/19 YCE 学生と国際交流)

「今」は今日までの結果、明日は「今」が創る!

## 進路決定に向けて



3年生にとっては、いよいよ自らの進路に向けて船出する時期が迫ってきました。ただ、進路は何も3年生だけではありません。進路選択とは、将来の「自分の進む道」を自ら追求し、判断し、行動することです。ですから「進路について考える」ということは、自分の「夢」を思い描くことすし、「進路について話す」ことは、自分の「夢」を語ることだと思えます。

私は進路選択には3つのステップがあると思います。1つめは、自分の夢や理想を持つこと。2つめは、自分自身の置かれている状況を理解・把握した上で、将来の理想である自分像に近づくために何をすればよいか、どのような方法があるかを考えること。最後に、目標達成のために自分自身が行う具体的な努力です。

このようなステップを踏んで進路を考えていけば、結果的に第一志望の進路に手が届かなくても、ステップを戻して再スタートすることでよりよい進路決定ができると思います。そう考えたとき、学校や家庭ですべきことは、闇雲に学習させることではなく、(そういう時期も必要な時もありますが、)必要な経験やチャンス、情報を与えながら本人の目標達成を心から応援・支援することではないでしょうか。

かのエジソンは「人間の最大の弱点はあきらめることである。最も確実に成功する方法は、常にもう一回挑戦することだ」と言っています。生徒たちがこの冬を乗り越えたとき、新しい活躍の舞台とともに、困難や障がいにも負けずに自分の「夢」を大きく語れる強い心を手にしていることを願っています。

## 去年今年 流るる刻ぞ 愛おしき 小林 凜

もうすぐ新しい年が始まります。思い返せばこの一年間、嬉しかったこと、心に残ったこと、反対に嫌なこと、いろいろありましたが、すべて大切な思い出です。今ある思い出も、これからできるであろう思い出も、僕の人生の一部として愛していきたいです。

今日の終業式に紹介した俳句です。小林凜くん、現在中学3年生です。944グラムの超低体重児で生まれ、弱い脚力・視力・腕力、小さく細い体軀を笑われ、いじめられ、ついには不登校に。しかし、小学校3年生の時に俳句に出会い、よき人との縁を重ねながら尊敬する小林一茶から俳号をもらい、「ランドセル俳人」として将来を囑望されている「天才少年俳人」です。生まれしを 幸かと聞かれ 春の宵 9歳の時の俳句に、私は涙が出ました。

## 運動・文化面の活躍 男子卓球 県新人大会団体第3位!!

### ☆兵庫県新人卓球大会

《男子団体》2回戦 VS鶴居中(中播)3-0  
3回戦 VS有野中(神戸)3-0  
準々決勝 VS小園中(阪神)3-0  
準決勝 VS小田中(阪神)2-3  
《女子団体》2回戦 VS南淡中(淡路)2-3  
《男子個人》宅見悠社② 3回戦進出  
木村亮介② 2回戦進出

岡本真治① 西垣将碩① 1回戦惜敗  
《女子個人》吉村純香② 2回戦進出  
北村芽生② 岡本歩望② 1回戦惜敗

### ◎兵庫県人権作文コンテスト

奨励賞 中尾 優心①

### ◎J A 共済小・中学生書道コンクール

【半紙の部】努力賞 田中 鈴③  
岸本 梨音②  
西井友里奈①  
【条幅の部】努力賞 西田 一步③  
岡沢 杏里②

### ☆兵庫県郡市区対抗駅伝大会

美方郡代表に選出 南垣 斗磨①